

## ボツワナ共和国月報(2019年2月)

主な出来事

### 【内政】

- マタンボ財務・経済開発大臣による財政演説
- ボツワナは最も腐敗していない国の一つ, 180か国中34位
- 14のBDP地域委員会のうち8つの地域委員会がマシシ大統領を指名

### 【外政】

- ガインゴブ・ナミビア大統領のボツワナ訪問
- アフリカ大陸自由貿易圏協定への署名及びアフリカン・ピア・レビュー・メカニズムへの参加
- ボツワナ-ジンバブエ二国間国家委員会(BNC)初開催

### 【経済】

- 金融政策声明の発表

### 【文化】

- 日本の中京大学がソフトボールクリニックを開催

※当地メディア記事等を任意に引用した内容です。

### 【内政】

#### ○ マシシ大統領及びマホシ情報保安局長官に対する殺害脅迫

2日, パラペで開催されたボツワナ民主党(BDP)の全国戦略会議に参加したマシシ大統領の護衛部隊は, 情報保安局(DIS)がマシシ大統領及びマホシDIS局長の殺害計画に関する情報を入手したため, 警戒を強めた。通常は大統領は黒のレンジローバーのSUVに乗り, (大統領車の車種とは)異なる車種に挟まれる形の車列をとるが, 今般は大統領の乗っている車が特定できないよう同じ車種を用いた車列にした。また, 疑わしき人物の所に偵察隊を派遣し, 大統領の警護部隊に同人物の動きについて逐一情報提供した。(3日:サンデー・スタンダード紙)

#### ○ マタンボ財務・経済開発大臣による財政演説

4日, マタンボ財務・経済開発大臣は国民議会において, 2019/20年度予算案に関する演説を行った。昨年度(2017/18年度)決算は財政収支に関しては税収の低下により赤字となった。今年度(2018/19年度)修正予算は, 歳出に関しては開発予算における支出が減少するものの, 歳入は鉱業及び非鉱業関連の税収の減少が予想されるため, 財政収支は当初予算の財政赤字を大幅に上回る見通しである。来年度(2019/20年度)予算案は, 歳入に関しては602億プラ, 歳出は675.4億プラとなる見込みであり, 73.4億プラの財政赤字が見込まれる。歳出の経常予算は, 基礎教育省, 保健省及び司法・国防省を中心に配分され, 開発予算は国土・水・衛生サービス省, 司法・国防省, 鉱物資源・環境保全技術・エネルギー安全保障省を中心に配分される。政府は来年度において経済の強化, 社会開発, ガバナンスと治安の維持の三分野におけ

るイニシアティブを中心に政策を実施していく。(5日:デイリー・ニュース紙)

#### ○ ベンソン＝モイトイ氏の幹事長は南部から

ボツワナ・ガーディアンのインタビューを受けたBDPの大統領候補者ベンソン＝モイトイ氏は、「(ベンソン＝モイトイ氏がBDP党首に選出された場合の)BDPの幹事長が誰になるのかは、現在交渉中なのでお話しすることはできない。数名と交渉し、合意に至った人物を近い将来発表する予定である。モレフィ大統領府公共政策担当大臣にも(幹事長の)話を持ちかけたが、彼はやりたくないと言った。BDPは北と南に分かれているという話があるので、南部出身者から候補者を推薦してもらうことで合意した。多くの方が幹事長職を約束されていたと話しているツェケディ・カーマ大臣の名前は幹事長職候補から除かれた。ツェケディ大臣に対して自分の立場を明確にしたところ、彼もそれを了解してくれた。また、カーマ前大統領は自分を支持すると言ってくれた。」と述べた。(当館注:BDPの幹事長が副大統領に任命されるのが通例である。)(8日:ボツワナ・ガーディアン紙)

#### ○ボツワナは最も腐敗していない国の一つ

トランス・ペアレンシー・インターナショナルが発表した腐敗認識指数において、ボツワナは180か国中34位となった。アフリカではセーシェルに次ぎ2位となっている。(8日:ボツワナ・ガーディアン紙)

#### ○ ボツワナ南部でマラリアの発生

1月7日モシャネンにて、7才と8才の兄弟2名がマラリアを発症したと、カニエ地域保健管理チームより報告された。家庭内や500メートル範囲内の人々に対してマラリアの検査をしたが、すべて陰性であり、マラリア感染の経路は現在不明である。また先週モショパとラナカでも2名のマラリア患者の発生を記録した。サザンディストリクトはマラリアが一般的な地域ではないが、ここ数年は数例報告がある。(12日:デイリー・ニュース紙)

#### ○野党連合UDCのもう一つの亀裂

野党連合UDCのメンバーであるBNFとBCPIはハボロネ・セントラル選挙区の候補者擁立で非難合戦を繰り広げている。UDCからは既にAPが離脱し、BMDが会員資格を失っており、総選挙まで数か月となったこの時期においても結束が保たれていない。(13日:ボツワナ・ガゼット紙)

#### ○大統領直接選挙は必要ない

サディケ・ケボナン国会議員(ロバツェ選出)は国会で直接大統領を導入する計画はあるのかと質問し、これに対しマチャナ・シャムクニ大統領府・統治・公共政策担当副大臣は「現在そのような計画はなく、政府は法律を改正する必要性を見いだしておらず、大統領の直接選挙は考慮に入れていない」と述べた。(15日:デイリー・ニュース紙、20日:ボツワナ・ガゼット紙)

### ○マシシ大統領, 国家石油基金汚職事件の裁判において大統領の権利を執行せず

現役の大統領は法廷事案から免除される権利があるが, 国家石油基金からマシシ大統領の選挙戦に資金が流れたという情報に対し身の潔白を証明するために, 右権利を利用せず, 法廷で証言すると述べた。(15日:メヒ紙)

### ○ビニール袋税を徴収しないのは政府にとってのロス

昨年6月6日, ボツワナ政府はプレスリリースを発売し, 昨年11月1日付で買い物用ビニール袋の使用を禁止すると発表していたが, 投資・通商産業省及び産業界と更に検討が必要として同禁止令を取り下げていた。現在国会では, ビニール袋に特別税を課し, 徴収した税で環境に関する開発事業を実施すべきだとの議論がされている。(19日:デイリー・ニュース紙)

### ○大統領府, 大統領住居ファンドの設立を発表

21日大統領府は, 貧困層の人々のために住居建設及びその維持管理に利用される基金を設立し, 新たなドナー向けの口座を開設したと発表した。同基金は, カーマ前大統領が最初に設立し, 大統領職から退任後もカーマ前大統領個人の事業であるとし, 大統領府への引渡しに関し難色を示していた。(1月30日:ボツワナ・ガゼッタ紙, 21日:デイリー・ニュース紙)

### ○与党BDPの大統領候補を決める特別総会開催日が決定

20日, バロピ・ボツワナ民主党(BDP)事務局長が, 本年開催される総選挙に関し, 与党である同党の大統領候補を決定するための特別総会をボツワナ西部の街, カン(Kang)で4月5日に開催すると発表した。(22日:ボツワナ・ガーディアン紙)

### ○野党連合は選挙区を振り分ける

モワサ UDC 報道官は「BMDがUDCからのメンバーであった時に小選挙区からの出馬が約束されており, 後にUDCの他の加盟政党に移った者は, それぞれの選挙区で引き続きUDCの候補者となることができる。未だにBDMのメンバーが持っている選挙区には来週に候補者が振り分けられる」と述べた。(22日:ボツワナ・ガーディアン紙)

### ○ンカラバンもカーマ前大統領の秘書官になれない

大統領府は, カーマ前大統領から秘書として採用したいと申し出のあったツァオネ・ンカラバン(Tsaone Nkarabang)の採用を拒否した(大統領経験者には公費で秘書を付けられる制度がある)。ンカラバン氏はカーマ前大統領が大統領職にいた頃の私設秘書官であり, コシ元情報保安局長が拒否されたのに続き, 側近の秘書官への登用が再度拒否された。(25日:モニター紙)

### ○マシシ大統領ハンティング規制に関し西洋諸国を激しく非難

マシシ大統領は与党BDPの南東部総会に参加し、西洋から浴びせられるボツワナのゾウの殺害に関する非難に対し激しく抗議した。マシシ大統領は「彼ら(西洋諸国)は野生動物などいないのにどうして我々にどのように野生動物を扱うべきかを言うことができるのだ。私はユニティ・ダウ大臣と英国に行った時に、彼らの問題は、彼らがゾウの問題をまるで人がそこに存在しないかのように話すことだと述べた。私は彼らに、200頭のゾウをボツワナから英国に持って行き、あなた方が我々に望んでいるように自由にさせたらどうなるだろうかと伝えた」と述べた。(25日:モニター紙)

#### ○ ボツワナのゾウの密猟はでっち上げではない

「国境なきゾウたち(Elephant Without Borders: EWB)」のチェイス博士(Dr. Chase)が航空機を使ったゾウの密猟調査を実施し、昨年9月に87頭が密猟目的に殺害されていたとするドラフト段階の調査結果が公表され大変大きな論争を引き起こした。今般、その報告書の最終版が提出され、87頭から88頭に殺害数は修正された。なお、ボツワナ政府は、チェイス博士の調査手法が複数の技術を組み合わせており正確性に問題があるのではないかという考えから、元のデータを政府に提出するように求めている。(25日:BBC電子版, 27日:ボツワナ・ガゼット紙)

#### ○ BDPの8つの地域委員会がマシシ大統領を指名

15のBDP地域委員会のうち8つの地域委員会でマシシ大統領がBDPの大統領候補としてノミネートされることになった(当館注:実際の地域委員会の数は14)。BDPの党則では、各地域委員会が大統領候補者を1名ノミネートし、特別総会で無記名投票を行うことでBDPの大統領候補を決定することになる。地域委員会からノミネートされなくとも、50名の署名を集め大統領候補者選挙の24時間前に個人で登録すれば、党内の大統領候補選挙には出馬できる。(27日:ボツワナ・ガゼット紙)

#### ○ セロウエの長老達が会議を開催

BDPの大統領候補に名乗りを上げたベンソン＝モイトイ氏の選挙区を含むBDP中央地区がマシシ大統領をBDPの大統領候補としてノミネートする決定をしたことを受け、24日セロウエのBDPの長老達は、中央地区の大統領候補のノミネートの仕方について疑義を呈し、会議を開催した。会議には、カーマ前大統領、ベンソン＝モイトイ氏、グマ国民議会議員が参加した。パロピBDP事務局長は、この会議について、BDPの規則に則り正当なプロセスを経て招集されたものではないとし、誰が収集したのか、どのようなことが話されたのか調査し、必要であれば罰すると発言した。(25日:モニター紙, 27日:ボツワナ・ガゼット紙)

#### ○ 2016年選挙改正法の廃棄に向けた動き

シャムクニ大統領府・統治・公共政策担当副大臣は12日付政府広報誌に2019年選挙(修正(廃棄))法案と名付けられた法案を掲載した。これは、電子投票を行うなどを規定した2016年選挙改正法の廃棄と、電子投票を実行しない等を規定すること目指している。本年8月末までに国会

に提出される予定となっている。(3月1日:メヒ紙)

## 【外交】

### ○ ガインゴブ・ナミビア大統領のボツワナ訪問

1日, SADC本部を実務訪問するためボツワナに滞在中のガインゴブ・ナミビア大統領はマシシ大統領を表敬訪問した。マシシ大統領は, 牛肉及びダイヤモンドを中心とした鉱物資源という共通の産業における協力を模索すると述べ, 道路及び鉄道網を整備することにより, さらに貿易, 通信, 文化システムといった分野における協力も模索していく必要があると述べた。これに対しガインゴブ大統領は, 二国間の物と人の自由な移動の可能性や, ドライ・ポートの整備を通じ, ボツワナの海へのアクセスを支援してきたことなどを述べた。さらに, カプリビ難民の送還に関しても言及し, ナミビアは戻ってくる亡命者を歓迎し再統合するつもりであると述べた。(4日:デイリー・ニュース紙)

### ○ マシシ大統領第32回AUサミットに参加

アディスアベバで開催された第32回AU総会に参加したマシシ大統領は, 10日, サイドラインで開催された「アフリカ農業トランスフォーメーション・スコアカード(AATS)」の会議に参加し, 同会議は非常に重要であるのでサイドイベントではなく主要なアジェンダとして議論されるべきと述べた。なお, 本会議においてボツワナの農業トランスフォーメーションは, 順調であるとされた。また, 翌11日は「栄養のためのアフリカ指導者会合(ALN)」に参加し, 国際機関が収集したデータと国内データとの間には, 情報収集及び分析の能力の違いに起因して差異が見受けられるという課題があり, 正確性のために比較されなければならないと述べた。(12日, 13日:デイリー・ニュース紙)

### ○ アフリカ大陸自由貿易圏協定への署名及びアフリカン・ピア・レビュー・メカニズムへの参加

アディスアベバで開催された第32回AU総会から戻ったマシシ大統領が記者会見を開き, ボツワナがアフリカ大陸自由貿易圏協定に署名した51か国目になったこと及びアフリカン・ピア・レビュー・メカニズム(APRM)に加盟した38番目の国になったことを発表した。(14日:デイリー・ニュース紙)

### ○ EUがボツワナをマネーロンダリングに係るブラックリストに掲載

EUはボツワナを, 他の22か国と共に, マネーロンダリング及びテロリストの資金源に係るブラックリストに掲載した。これにより, EUの反マネーロンダリング規則に従う銀行及び他の組織は, ブラックリストに載せられた国の顧客や財務組織からの依頼に関してより慎重な検査をすることが求められる。したがって, ボツワナへの海外直接投資を鈍化させる可能性がある。(15日:メヒ紙)

### ○ モスクワはアフリカの安全保障理事会常任理事国入りを支持

8日, ロシア大使公邸で開催された「ロシア外交デー」において, シビレフ露大使は, アフリカ諸国

の安全保障理事会で常任理事国入りするという悲願を支援すると述べた。一方、ボツワナ・ガーディアンのインタビューに答えた同大使は、1月22日のアーヘン条約への署名により、ドイツの常任理事国入りへの意志をフランスが黙認したという謀反を批判した。(15日:ボツワナ・ガーディアン紙)

### ○日本はボツワナの資源経済から知的経済への移行を手助けする

22日、竹田大使は日本へ旅立つ留学生のために夕食会を開催した。同大使は、日本はABEイニシアティブ、JICAの提供するトレーニング等で、ボツワナの人材育成を通じた知的経済への移行を支援すると述べた。また、日本のNGOあしなが育英会がボツワナを含むアフリカ諸国で実施している百年構想も紹介した。(26日:デイリー・ニュース紙)

### ○ボツワナ-ジンバブエ二国間国家委員会(BNC)初開催

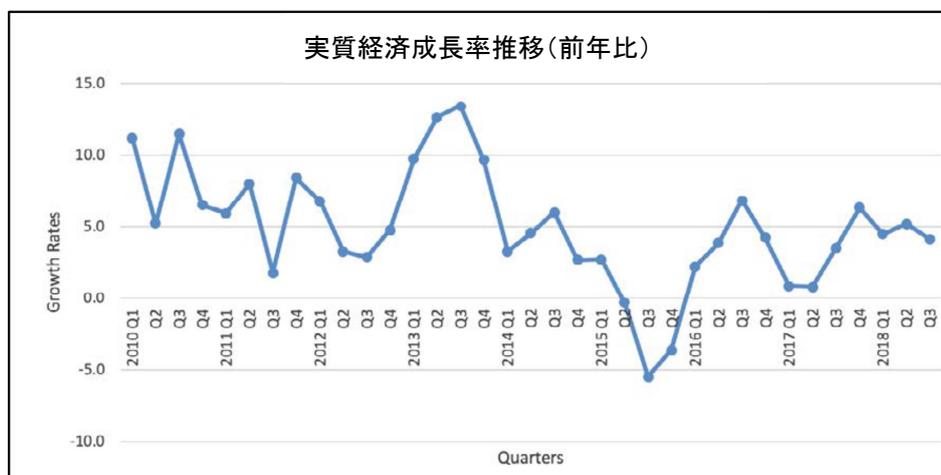
28日、ジンバブエを訪問中のマシシ大統領は、ムナンガグワ・ジンバブエ大統領らと二国間国家委員会(Bi-National Commission: BNC)を初開催した。BNCでは、(1)外交協議に係る覚書、(2)二国間国家委員会会議の開催規則及び手続に係る覚書、(3)科学技術及び革新分野における協力に係る覚書、(4)犯罪人引渡条約(Extradition Treaty)、(5)鉱業・地質学・地金分野における協力に係る覚書、及び、(6)エネルギー開発分野における協力に係る覚書、が結ばれた。(2月27日、同28日、3月1日、同4日:デイリー・ニュース紙)

## 【経済】

### ○ ボツワナの主要経済指標

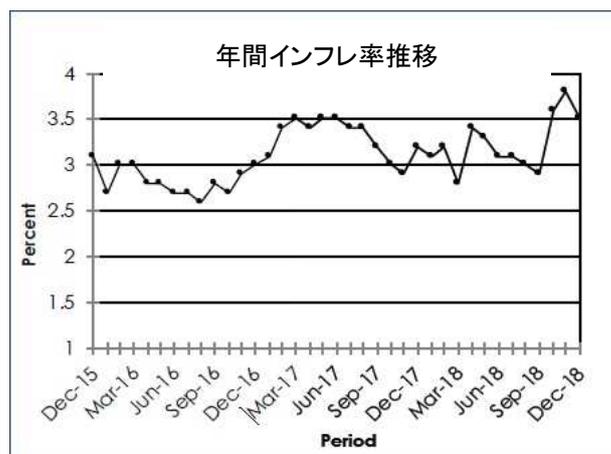
#### 1) 経済成長率(出典:ボツワナ統計局)

2018年第3四半期の GDP は489億1230万プラとなり、第2四半期(469億6740万プラ)と比べて0.5%増となった。(2017年GDP合計は1801億1270万プラ)



## 2) 年間インフレ率(出典:ボツワナ統計局)

2019年1月は3.5%(2018年12月は3.5%)。



## 3) 為替レート(出典:First National Bank of Botswana)

2019年2月28日

1プラ=0.092米ドル

1プラ=1.279南ア・ランド

1プラ=10.31円

2019年1月31日

1プラ=0.094米ドル

1プラ=1.244南ア・ランド

1プラ=10.35円

[米ドル] 為替推移(1プラ=〇米ドル)



[円] 為替推移(1プラ=〇円)



## ○ ダイヤモンド産業

### 1) デビアス社, 第一期ダイヤモンド原石販売会で5億500万米ドルの売上を記録

デビアス社は, 第一期ダイヤモンド原石販売会において, 5億500万米ドルの売上を記録した。

昨年同時期の販売会においては6億7200万米ドルを売り上げており, 過去12か月の内で三番目に低い売上となった。(1日:メヒ紙)

### 2) デブスワナ社, 2018年の生産目標を超える

デブスワナ社(当館注:ボツワナ政府とデビアス社との合弁企業)は, 2018年のダイヤモンド原石の生産量として目標の2380万カラットを上回る2410万カラットを記録した。同生産量は2015年からの生産量と比べ最も高い値となった。(1日:メヒ紙)

### 3) デビアス社のダイヤモンド原石生産量が増加

デビアス社は、2018年のダイヤモンド原石生産量が前年の3350万カラットと比較し、6%増の3530万カラットを記録した旨発表した。また、ダイヤモンド宝石類への消費者需要の改善と6%ダイヤモンド販売単価の1%の増加により、2018年の収入が前年の58億米ドルから61億米ドルに上昇し、前年の収入より4%増加した。(27日:ポツワナ・ガゼット紙)

## ○ エネルギー・資源

### 1) BCL社とノリリスク社の係争, ロンドンへ移行

8日、世界一のベースメタル生産企業であるノリリスク・ニッケル社(露)は、BCL社による契約義務違反に係る訴訟に関し、ロンドン国際仲裁裁判所で調停を開始し、訴追する権利に係る決定を上訴裁判所(Court of Appeal)から得た。時期は不明でなるも、本件は今後ロンドン国際仲裁裁判所で取り扱われる見通しである。(15日:メヒ紙)

## ○ 2019/20年度財政演説の発表

4日、マタンボ財務・経済開発大臣は2019/20年度予算案に関する演説を行った。同演説によると、昨年度(2017/18年度)決算の財政収支は税収の低下により、赤字となり、今年度(2018/19年度)修正予算については開発予算における支出が減少し、鉱業及び非鉱業関連の税収が予想されるため、財政収支は当初財政赤字を大幅に上回る見通しである。また、来年度(2019/20年度)予算案について、歳入は602億プラ、歳出は675.4億プラとなる見込みであり、73.4億プラの財政赤字が見込まれている。政府は来年度において経済の強化、社会開発、ガバナンスと治安の維持の三分野におけるイニシアティブを中心に政策を実施していく。(5日:デイリー・ニュース紙)

## ○ 中国企業による西部バイパス・インターチェンジの建設

中国企業Zhong Gan Engineering and Construction社は、ハボロネ市のBTVサークル、レインボーサークル、ゲームシティサークルの3つの交差点(ラウンドアバウト)に立体的なインターチェンジを建設する4億5000万プラの契約を請け負うこととなった。計画は2年間実施され、2020年に終了する予定である。同社の管理責任者は、経済多角化促進政策(EDD)及び国民エンパワーメント政策に対応するため、労働力と資材を国内で調達するよう努める旨発言した。また、石油輸出国機構国際開発基金(OIFD)がポツワナ政府と共同で同計画の資金を提供する。Zhong Gan Engineering and Construction社は、China Jiangsu International社とUnik Construction Engineering社の合併企業である。(11日:モニター紙)

## ○ 中国企業の贈賄関与疑惑

13日付けで鉱物資源・環境保全技術・エネルギー安全保障省次官が署名したコミュニケによると、中国企業China Jiangsu International社が大規模な贈賄に関与した疑惑が判明し、政府関係機関

に対して、同社を政府関連のプロジェクトに関与させないよう警告した。同コミュニケは、同省傘下のデブスワナ・ダイヤモンド社、オカバンゴ・ダイヤモンド社、ボツワナ石油公社、ボツワナ電力公社等のCEOに通知された。China Jiangsu International社は現在、約2億7000万プラ規模の警察犯罪科学研究所の建設(当館注:インフラ・住宅開発省が担当)を含めた複数のプロジェクトを実施している。(15日:ボツワナ・ガーディアン紙)

#### ○ 中国企業による契約解除見直しを求める訴状の提出

今週、中国企業China Jiangsu International Botswana社は弁護士を通じ、公共調達委員会(PPADB)、法務長官及び国土・水・衛生サービス省を相手取り、同社が落札した契約を解除したPPADBの決定の見直しを求める訴状をハボロネ高等裁判所に提出した。同社社長によると、同社は契約の取消しが違法で悪意に満ちた問題あるものであることを証明することを求めており、賠償金と共に契約の取消しが見直される、もしくは差し止められるべきであるとしている。これまでに同社が落札したマウンにおける配水管、遠隔測定、制御システム等の設計と施工に係る契約及びパラペの主要村における配水ネットワークの改修に係る契約が解除されている。マホシ情報保安局長は、同社の贈賄疑惑については多くの調査が実施されており、調査が継続中である旨発言した。(23日:ウイークエンド・ポスト紙)

#### ○ カサネ・ヨハネスブルグ間の運航便の再開

ボツワナ航空は、カサネ・ヨハネスブルグ間の運航便を今年遅くに再導入する予定である。同社は再開の明確な時期については言及しなかったものの、再開することは確約した。(25日:ウイークエンド・ポスト紙)

#### ○ 金融政策声明の発表

25日、ボツワナ中央銀行は2019年金融政策声明を発表した。同金融政策声明では、引き続きインフレは中期的に低く、予想の範囲内に留まると予想され、金融システムは安定しているとされている。また、ボツワナ中央銀行は金融システムの安定に必要なあらゆる分野における情報交換、協力及び調整し、財務・経済開発省、ボツワナ中央銀行、非銀行金融機関規制庁及び金融情報庁の幹部で構成される金融安定評議会(FSC:Financial Stability Council)が設立されたことを発表した。(24日:サンデー・スタンダード紙)

#### 【文化】

#### ○ 日本の中京大学がソフトボールクリニックを開催

日本の中京大学ソフトボールチームがボツワナを訪問しており、グッド・ホープやグマレでクリニックを開催する。また、コーチ、審判、ソフトボール協会に対しワークショップも開催する。来年の東京オリンピックを目指し南アフリカでの予選に参加するボツワナ代表チームとの試合も計画されて

いる。日本とボツワナは、ソフトボールで世界での強豪国の一つである日本がボツワナを支援するという覚書に署名している。(13日:デイリー・モニター紙)

○ **竹田大使がソフトボールチームを賞賛**

25日、竹田日本国大使は、大使公邸でボツワナ訪問中の中京大学ソフトボールチーム及びボツワナソフトボール協会関係者を集めレセプションを開催した。大使は、今回の協力が2020年の東京オリンピックの予選会に生かされれば幸いと述べ、これに対しタボ・タマネ・ボツワナソフトボール協会会長は東京オリンピックに出場することを約束した。(28日:デイリー・ニュース紙)